

特集・戦後教科書と教育資料

だれもが学んだ教科書。小・中・高等学校と常に机上にあったのに、いつの間にか手元から離れてしまっただけが残っている方が多いのではないのでしょうか。当館では、かつてお世話になった戦後の教科書を歴史資料のひとつとして収蔵し、閲覧に供することにしました。また、関係深いいくつかの教育資料群もあるので、あわせて紹介します。

歴史のひとこまの姿として見るもよし、思い出の確認をされるのもよし、歴史的価値をおおいに引き出してください。

●小・中・高等学校用教科書 13472点、昭和16(1941)年～平成13(2001)年

小学校用教科書

使用年度	国語	算数	理科	社会	芸術	保体	家庭	生活	道德	職業	計
昭和16～昭和24				2	11						13
昭和25～昭和34	26	7	65	89	71			1		2	261
昭和35～昭和44	126	97	94	149	173	10	4		3		656
昭和45～昭和54	165	186	154	152	260		14				931
昭和55～平成1	347	260	165	182	367	7	19				1347
平成2～平成11	163	176	77	106	156	12	4	42			736
平成12	18			8	36			20			82
計	845	726	555	688	1074	29	41	63	3	2	4026

中学校用教科書

使用年度	国語	数学	理科	社会	英語	芸術	保体	技家	職業	計
昭和16～昭和24			2							2
昭和25～昭和34	120	3	90	81	5	42	15			356
昭和35～昭和44	103	53	27	41	13	72	16	24	2	351
昭和45～昭和54	55	50	29	79	28	145	15	36		437
昭和55～平成1	52	50	36	65	15	133	9	8		368
平成2～平成11	46	35	9	49	52	98	8	3		300
平成12				5						5
計	376	191	193	320	113	490	63	71	2	1819

高等学校用教科書

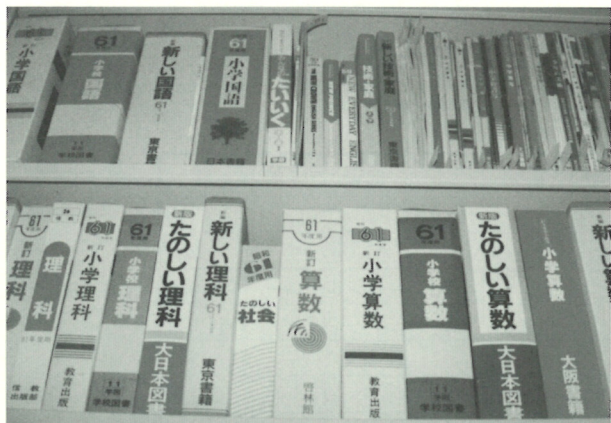
使用年度	国語	数学	理科	社会	英語	芸術	保体	家庭	職業	計
昭和16～昭和24										0
昭和25～昭和34	68		13	25	24		4	1	3	138
昭和35～昭和44	323	98	96	249	128	23	10	61	331	1319
昭和45～昭和54	345	169	187	221	382	61	25	97	187	1644
昭和55～平成1	346	372	322	317	271	129	20	54	239	2070
平成2～平成11	323	338	270	302	514	137	21	60	260	2225
平成12		25			13	6				44
平成13		1								1
不明	3	1	2	3	14		2			25
計	1408	1004	890	1117	1346	358	80	243	1020	7466

※このほか161点の副教材があります。

集計表でうかがわれるように、主として昭和30(1955)年以降平成11(1999)年に至る45年間に刊行されたものが中心になっています。昭和24(1949)年県教育庁調査統計課分室から、翌25年県教育研究所の設立、昭和41(1966)年県立教育センターと改称されて現在に至る半世紀の間に収集・保存されてきた教科書で、学校現場で使用するための審査用資料だったものが大半です。したがって同年代の同教科で複数の出版社がいかに編集を工夫しているか、

比較することができますし、教育政策の変遷がどのような形で反映しているか、年代を追って見ることもできます。また、生活科教科書のルーツとも言えるような編集の社会科教科書が昭和23(1948)年に刊行されていたことや、ローマ字授業専用の教科書があったことが実物で確認できるのも興味深いことです。

閲覧は、閲覧室備え付けの詳細目録により、請求してください。



●昭和戦後小学校教育資料

33点、昭和27(1952)年～平成7(1995)年

昭和55(1980)年から平成2(1990)年にかけて文部省(当時)が編刊した指導要領・各教科別指導書など18点及び昭和30(1955)年から平成7年にかけて県教育委員会が編刊した社会科・理科の指導計画書や実践参考書14点。ほかに、新潟大学附属新潟小学校独自編集の「私たちのカリキュラム」(昭和27年)1点。いずれも教科書と相互に関わる資料です。平成15年度新潟市・團原友之氏寄贈。閲覧は原本のみ。

(請求記号 E-168)

●新潟県視聴覚教育関係資料

473点、昭和23年(1948)年～平成2(1990)年

県視聴覚ライブラリー(Audio-visual library)設立当初(昭和23年)から50年間にわたる運営及び活動の記録群であり、昭和30年代以降が中心になっています。GHQからナトコ(Natco)映写機とフィルムの貸与を受けて始めた活動が3年後には県内5ヶ所に地区ライブラリーを置いて浸透してゆく過程や、県内外の状況が豊富な文書と刊行物から年を追って読み取ることができます。ライブラリーは平成4(1992)年に現在の生涯学習推進センターに生まれ変わ

りましたが、これからも視聴覚教育の歴史を作り続けて行くでしょう。初期の部分については、故佐藤嘉市氏の収集資料(第4号参照、請求記号 D1-SK1)と相互に補完しあいます。閲覧は原本のみ。

(請求記号 I-30)

●新潟県中学校教育研究会資料

645点、昭和53(1978)年～平成8(1996)年

新潟県中学校教育研究会(中教研)は、県内の中学校教職員を会員とする任意の団体で、全県を対象とした県費補助の研究会、郡市を単位とした自己財源の研究会などを展開しています。この資料群は、これら研究会の要項や研究収録から構成され、一部、研究会場校の要覧、全国大会や北陸ブロック大会の資料なども含まれます。年代的には、日本の学校教育が、いわゆる「ゆとり教育」に転換した直後からの時代をカバーしており、内容的にも、指導案などによって、どのような実践が求められていたかを具体的に知ることが出来ます。「ゆとり教育」、あるいはその時代を検証する上で、重要な位置を占める資料群といえます。平成13年度新潟県中教研寄贈。

閲覧は原本のみ。(請求記号 E-146)

●戦前戦後郷土教育資料

225点、明治45(1912)年～昭和52(1977)年

旧新潟師範学校(現新潟大学教育学部)郷土資料室に所蔵されていた地域史誌の一部を始め、小学校での郷土学習の参考に収集された各種刊行物約170点と、昭和戦前の指導資料9点、戦後新制教育実施前後の指導資料40点からなる資料群で、独自編集の副読本も含まれます。戦前から戦後へ郷土教育(学習)がどのように変化してきたかを知ることができます。平成14年度新潟市・伊里 基氏 寄贈。

閲覧は原本のみ。(請求記号 E-162)

●●●越前(えちぜん)小学校平成9年度学年だより等

131点、平成9(1997)年～平成10(1998)年

1学年「ふたば」7点、2学年「風の子」41点、3学年「GAO GAO KIDS」1点、4学年「きせつだより」34点、5学年「HAPPY」19点、6学年「仲間19」15点、ほかに「ほけんだより」10点、「給食だより」4点を含みます。

巻町北部、角田山と日本海に近い児童数約100人(当時)の小学校。教育現場1年間の記録として歴史的価値は今後さらに高まるでしょう。

閲覧は原本のみ。(請求記号 E-133)

●●●戦後中学校用教科書

173点、昭和30(1955)年～昭和62(1987)年

ほとんど社会科で、冒頭の教科書群と重複しています。若干の指導参考資料を含みます。平成8年度巻町・亀井 功氏 寄贈。

閲覧は原本のみ。(請求記号 E-79)

●●●県内養護学校関係資料等

296点、昭和35(1960)年～平成元(1989)年

30年にわたる養護学校の状況を追うことができます。平成7年度 新潟市・斉木一則氏 寄贈。

閲覧は原本のみ。(請求記号 E-69)

新たに閲覧可能となった文書 (14.10～15.4)

	請求記号	文書群名 (関係地名)	年代	点数	備考
複製	C 03-SS	(新潟市) 坂井清衛日記	明治44～昭和52	57	フィルム
	C 09-N	西蒲原郡粟生津村・長善館学塾資料 (吉田町)	文政7～昭和3	791	
	C 45-W	新潟版 孝経刊誤集註、県立巻中学校生徒日誌	嘉永6、明治43	2	
	M 4497～ N 838～	徴発物件一覧表 毎日新聞戦時版 (I-30の複製)	明治5～明治44 昭和19～昭和20	24リール 4	
受贈 受託 等	E 7	中魚沼郡川治村・松沢家文書 (十日町市)	嘉永4～昭和13	2465	刊本
	E 143	刈羽郡女谷村・布施家文書 (柏崎市)	承応3～昭和23	3663	
	E 157	新潟県航空史関係文書	昭和40年代～平成14	168	
	E 162	戦前戦後郷土教育資料	明治45～昭和52	225	
	E 165	佐渡郡郡勢調査顛末及原表〔統計書〕	明治45	1	
	E 168	昭和戦後小学校教育指導資料	昭和27～平成7	33	
移管	F 63	刈羽郡寺尾村・善照寺文書 (刈羽村)	貞応元～昭和50	167	
	I 28	小・中・高等学校用教科書	昭和16～平成13	13472	
	I 29	県視聴覚教育関係資料	昭和23～平成11	473	
	I 30	毎日新聞戦時版	昭和19～昭和20	36	
	I 31	県議会事務局作成新聞スクラップ帳	昭和27～平成2	1349	

※原則として越後国は国名を、佐渡国は郡名を省いています。また、太字の文書は解説文があります。

●●●坂井清衛(さかいせいゑい)日記(複写)

57点、大正6(1917)年～昭和52(1977)年

新潟市西堀前通1番町で米穀販売店を営んでおられた坂井清衛氏(1902～79)が家業を手伝い始めた15歳から60年間ほぼ毎日記した個人日記。昭和20年7月21日～12月31日、昭和22年11月6日～24年12月31日、昭和49年1月1日～12月31日の分を欠く以外は、毎年市販の日記帳を購入してペンでこまごまと書き込んでいます。内容は自分のこと、家族親類のことなどを中心に、時事への感想に及んでいることもあ

りますが、家業や業界への言及はありません。そのことはむしろ坂井氏や当時の人が日記をどのように意識していたのかを知る手掛かりになると思われます。極めて私的な文書形態ではありますが、地方都市の一隅で一般市民がいだいてきた生の感情と、時代の感覚を知ることができる一例として貴重な史料群であることを重視された御遺族の総意により、特に閲覧上の制限は設けていません。原本は平成13年度 相模原市・坂井 誠氏 寄託。

(請求記号C03-SS)

● (旧制)県立巻中学校生徒日誌 (複写)

1点、明治43年(1910)年4月8日～9月13日

その年4年生になった一生徒の一学期分で、原本は和装本。1ページに一日分の記述ができるように欄が印刷されています。表紙見返しには記入にさいしての注意書があり、「各学科ニテ学ビシコトノ要点」を甲、「掃除教師友人ノ欠勤欠席等ノ日常ノ事項ヨリ運動会遠足其ノ他臨時ノ出来事ニ至ルマデ」を乙、「起臥予復習訪問家事ノ手伝其ノ他家族ノ起居ニ至ルマデ」を丙、「学校家庭以外ノ出来事見聞セシコト感ゼシコト等」を丁として記述するように指示しています。続いて、勤労・廉直・恭敬の三条からなる「本校訓育ノ綱領」の説明があり、この日誌がそれに基づく学校独自の課題であることが感じられます。巻中学校は明治40年創立ですから日誌を書いた生徒は第一回生であることが分かり、当時10代後半の彼らが毎日をどのように過ごしていたのか、自由時間は大半庭球(テニス)をしていたなど、定形の記述ではあっても校内の雰囲気や生徒の個性は十分読み取ることができます。このような日誌は今のところ県内では他に例を見ません。

(請求記号 C45-W)

● 徴発物件一覧表 (複写)

マイクロフィルム(35ミリ ポジティブ ロール)24リール

明治の陸軍が有事に備える目的で秘密裏に調査した徴発可能物件の詳細な統計で、明治全期に及びます。年度によっては大字(おおあざ)単位まで地域別けがなされ、項目も詳細を極めています。

リール1: 共武政表 (明治5～8)

リール2～6: 共武政表 (明治11～13)

リール7～19: 徴発物件一覧表 (明治16～30)

リール20～24: 徴発物件表 (明治34～44)

(請求記号 M-4497～4520)

● 佐渡郡郡勢調査顛末及原表

1点、明治45(1912)年佐渡郡役所刊

明治42(1910)年着手の“佐渡国誌編纂事業”の一環として同年末に実施されたもので、当時佐渡郡内に在住する人について11項目を調査し、22の表にまとめています。既蔵の佐渡郡役所文書とも密接な関連が考えられます。平成14年度購入。閲覧は原本のみ。

(請求記号 E-165)

● 平成13年度文書管理委任の状況

管理委任課	作成年代	点数
総務部人事課	昭和44年	4点
	昭和45～46年	3点
	昭和46年	5点
土木部用地・土地利用課	昭和43年	1点
	昭和46年	6点
土木部道路建設課	昭和46年	4点
	昭和46～47年	5点
港湾開発局 東港開発課	昭和42年	1点
	昭和46年	9点
	昭和46～47年	1点
	昭和47年	2点

● 県議会事務局作成新聞スクラップ帳

1349冊、昭和27(1952)年～平成2(1990)年

県政及び関連記事が1件ずつB5版の専用カードに貼られ、内容分類されています。出所は「新潟日報」が大部分と思われます。

昭和27年から41(1966)年までは分類ごとの編年になっていて、227冊が一群になっています。その後は一年単位の群に分かれて、その中で70～80項目の細分類がなされています。年別の冊数は、

昭和42(1967)年	20冊	昭和43(1968)年	50冊
昭和44(1969)年	56冊	昭和45(1970)年	88冊
昭和46(1971)年	74冊	昭和47(1972)年	57冊
昭和48(1973)年	67冊	昭和49(1974)年	66冊
昭和50(1975)年	68冊	昭和51(1976)年	63冊
昭和52(1977)年	58冊	昭和53(1978)年	51冊
昭和54(1979)年	41冊	昭和55(1980)年	28冊
昭和56(1981)年	32冊	昭和57(1982)年	24冊
昭和58(1983)年	31冊	昭和59(1984)年	34冊
昭和60(1985)年	29冊	昭和61(1986)年	34冊
昭和62(1987)年	36冊	昭和63(1988)年	38冊
平成元(1989)年	39冊	平成2(1990)年	38冊

となっており、さしずめ報道記事で見る県政の一大年表というところでしょうか。(請求記号 I-31)

編集・発行 新潟県立文書館

〒950-8602 新潟市女池南3丁目1番2号
TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737
H P <http://www.lalanet.gr.jp/npa/archives@mail.lalanet.gr.jp>
Eメール